

第1回インターネット核データシンポジウム

The First Internet Symposium on Nuclear Data

(ISND-1)

中川 庸雄

isnd@cracker.tokai.jaeri.go.jp

最近のインターネットの普及は目を見張るものがあります。特に、World Wide Web (WWW) と電子メール(e-mail) が急速に普及しているのはご存じのとおりです。今回企画した「第1回インターネット核データシンポジウム(The First Internet Symposium on Nuclear Data; ISND-1)」は、WWW と E-mail を使い、参加者が一同に会することなく核データのシンポジウムが開く試みです。日本原子力研究所核データセンターの有志の呼びかけに応じてくれた方々で実行委員会を編成し、ISND の運営方法などを検討してきました。今回は、初めての試みなのでかなり実験的色彩を濃くしていますが、この方法がうまく行き第2回以降の ISND 開催がもっとしっかりとした組織で行えることを期待しています。ISND については、既に JNDCmail や核データセンターの WWW サーバーを通して、第一次案内、第二次案内を発表しましたが、以下に ISND の概要を紹介します。

ISND の方法

発表者は、論文を HTML (HyperText Markup Language) で書きます。HTML は極めてわかりやすく簡単ですから、始めての方でも簡単に HTML 論文ができます。HTML 論文作成を支援するために「技術支援グループ」を編成しました。作成した HTML 論文は、身近な WWW サーバーに置いていただき、それに ISND ホームページの参加論文リストからリンクを張ります。身近に WWW サーバーが無い場合は ISND 事務局(原研核データセンター)の WWW サーバーが使えます。ISND ホームページは日本原子力研究所核データセンターの WWW に置きます。ISND ホームページは全世界からアクセスできますから、誰でも自由に発表論文を見ることができます。論文を見て、それにコメントしたり、質問したりするには e-mail を使います。e-mail を送るには、一度だけ ISND の参加登録をしていただく予定です。e-mail で送られる質問は、論文の著者に届けられるのと同時に、「パネル」と称する掲示板に送られ、WWW で見えるようになります。更に、著者からの返答もパネルに掲示されるようになります。この様にして、何

処からでも、何時でも、各論文に関する議論ができます。会場の問題も全くありませんので、会期を思い切り長くし、議論が十分にできるようにします。

発表論文は当然全世界から見えるので英文で作成します。海外からの参加も受け付けます。パネルでの議論は英語で行います。議論は e-mail でやりとりするので、英会話が苦手でも全く問題ありません。

最後に発表論文は報文集としてまとめ、日本原子力研究所の公開レポートの一種である JAERI-Conf として公開する予定です。報文集を WWW でも取れる様にする事も実行委員会では検討しています。

予 定

論文申込み締切	3月15日 (300語程度の要旨を付ける)
HTML論文締切	3月25日
ISND開始	4月8日
ISND終了	6月15日
報文集原稿締切	6月28日

ISND ホームページ

http://cracker.tokai.jaeri.go.jp/isnd/index_J.html (日本語)

<http://cracker.tokai.jaeri.go.jp/isnd/index.html> (英語)

ISND 事務局

isnd@cracker.tokai.jaeri.go.jp

日本原子力研究所核データセンター

この原稿を書いている時点では、発表される論文数などが全く分かっていません。できるだけ多数の方が参加してくれることを望んでいます。ISNDに関する質問は上記の事務局の e-mail アドレスの方へお願いします。